

「会員短信 4」

『煌星』 十五周年記念を迎えて 佐野萬里子

滑稽俳句協会に入れていただいてから数年になりますが、あまりパツとしません。でも時に、身近なこと、世の中の矛盾した現象に対する気持ちをどうにも抑えきれなくなることがあり、それらを表現する場として、滑稽俳句協会は救いです。

さて、私が所属している結社「煌星」は、昨年十月十五日に創立十五周年記念の大会を開催しました。大会に先立ち、二年半かかって、十二名のスタッフが『季寄せ』を完成させて下さいました。掲載句はすべて、石井いさお主宰以下会員達が、結社誌や句会で作ってきた句から成っています。主季語だけで一九九四語あり、それに傍題を入れて五四六八語が、新年、春、夏、秋、冬の季節毎に、時候、天文、地理、生活、行事、動物、植物に分類され、それぞれの見出し語にはルビがつき、説明と例句が載っています。勿論、五十音順の索引があり、そこには傍題も含まれています。更に会員個々には、付録として各自の句の掲載ページの一覧表まで作って下さいました（ちなみに、私の句も三十余り掲載）。

私は記念特集号の係でスタッフ三名と共に編集に励んでいます。十周年の特集号に倣って、煌星十五年の年表の他、石井主宰の第二句集をはじめ、会員の句集とその代表句の紹介もさせていただきました。中でも創刊の頃を知る方々に集まっていただいたの座談会は、今回の目玉となりました。

活力は朝の人参ジュースより                      まり子